

令和5年度 長崎県立五島南高等学校 学校評価アンケート（教職員）

集計結果 100%回答

4：よく当てはまる (達成状況 70～100%)
 3：やや当てはまる (達成状況 50～69%)
 2：あまり当てはまらない (達成状況 30～49%)
 1：まったく当てはまらない (達成状況 0～29%)

は回答者数の最大値 は2番目に多い評価

項目	番号	具体的評価内容	評価 (%)			
			4	3	2	1
努力目標	1	自己管理と基本的生活習慣の確立をめざし、自律した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育む。				
	①	自ら生徒に声をかけ、あいさつの励行に努めた。	90	10	0	0
	②	普段から生徒の容儀に気を配り、違反についてはその場で注意するよう心がけた。	75	25	0	0
	③	生徒とともに清掃活動を行った。	70	30	0	0
	④	いじめや人権侵害などの行為を見逃さないような生徒観察に努めた。	75	25	0	0
	⑤	生活習慣や健康管理について注意を促し、学校を休まない指導を行った。	45	50	5	0
	⑥	周囲や相手に思いやりをもたせ生活させた。	50	50	0	0
	2	授業におけるICT機器の積極的な活用を推進し、基礎学力の定着と向上をめざす。				
	①	授業において、ICT機器等（電子黒板）を活用した。	74	21	5	0
	②	生徒の学力を把握し、これを伸ばすための教材、課題を与えた。	53	42	5	0
	③	補習、添削指導など個々の学力向上・改善に意欲的に取り組んだ。	37	47	16	0
	④	授業、総合探究、LHRを通して、進路実現の意識付けを積極的に行った。	32	63	5	0
	⑤	自分の授業の公開、他の教諭の授業参観を行った。	11	63	26	0
	⑥	校内外の研修に積極的に参加した。	26	53	21	0
	⑦	学習の見通しをもたせる工夫に努めた。	53	47	0	0
	3	生徒一人ひとりに対する進路指導の充実を図り、進路実現100%をめざす。				
	①	生徒の適性に合わせた情報を提供した。	53	47	0	0
	②	生徒の適性に合わせた進路指導を行った。	42	53	5	0
	③	全職員による面接指導を行った。	74	21	5	0
	4	組織的な教育相談体制の充実と特別支援教育の推進を図り、生徒一人ひとりの生きる力を育む。				
	①	気になる生徒について、自ら相談に乗ったりカウンセラーへの相談を促した。	65	35	0	0
	②	特別な支援が必要な生徒については、保護者との連絡を緊密に行った。	50	40	10	0
	③	特別な支援が必要な生徒の特性を理解し、わかりやすい教材開発に努めた。	50	45	5	0
	④	研修や月間報告を通して、生徒理解を深めるよう努めた。	60	40	0	0
	⑤	視覚的に訴える工夫や分かりやすい説明の工夫に努めた。	65	30	5	0
	5	学校行事、生徒会活動、部活動等の充実と活性化を図り、生徒の自主性や主体性を育む。				
	①	学校行事への積極的な参加意識と協調性を高めるよう努力した。	60	40	0	0
	②	部活動指導を熱心に行った。	25	25	45	5
	6	互いの人権感覚を育み、生徒及び教職員の健康と安全管理の徹底を図る。				
	①	生徒の心身の健康や安全に注意を払い、気になることについては主任・管理職に相談した。	62	38	0	0
②	安全点検を定期的に行い、気になることについては情報の共有を図った。	43	48	5	5	

項目	番号	具体的評価内容	評価 (%)			
			4	3	2	1
教務	7	各分掌・学年、地域との連絡を密にし、校務運営の円滑化並びに学校行事の充実を推進する。	80	20	0	0
	8	授業時間の確保、クラス間及び各教科の授業時数の偏りの解消に努めることで、生徒の学習機会の保障と学力向上を図る。	60	40	0	0
	9	新学習指導要領の施行にあわせ、生徒の実態に即した教育課程・評価方法の研究を促進し、ICTの活用をはじめとした職員の授業力向上や環境整備を図る。	40	60	0	0
生徒指導・教育相談	10	全職員の共通理解に基づき、根気強い生活指導を通して豊かな心を育み、規範意識や社会性を涵養し、不適応生徒や校則違反の生徒の減少に努める。	86	14	0	0
	11	保護者・地域との緊密な連携を図り、問題行動等を未然に防ぐ。	71	29	0	0
	12	学級担任・教科担当者との連携を密にししながら、各学年・分掌の協力を得て情報を共有し、生徒の精神的自立への援助を行う。また、生徒が心を開き相談しやすい環境づくりを目指す。	100	0	0	0
	13	「いじめ」の未然防止、早期発見に積極的に努める。	86	14	0	0
	14	不登校生徒及び不登校傾向のある生徒への適切な対応に努め、不登校生徒ゼロを目指す。	29	71	0	0
	15	人権教育に関する意識を高め、学校全体で積極的に取り組む。	71	29	0	0
	16	生徒の健康を保持増進し、心身共に健康な人間の育成を図る。また、健康診断等への生徒の関心を高め、事後指導を徹底する。	43	57	0	0
	17	安全管理と安全指導の徹底を図る。	43	57	0	0
18	学校生活全般やSST、通級指導を通して、社会性やTPOを身に付けさせるなど、キャリア教育の充実を図る。	57	43	0	0	
進路指導	19	朝ドリル・マナトレの実施、補習・対外試験の企画、全職員による面接指導	75	25	0	0
	20	企業・上級学校の積極的な開拓及び情報収集と生徒・保護者への情報提供	50	50	0	0
	21	進路検討会の実施	75	25	0	0
	22	校内外での進路ガイダンスセミナーの企画・運営	75	25	0	0
	23	2年生を対象としたインターンシップの実施	50	50	0	0
	24	大学や企業、受験情報等進路に関する情報の迅速な提供	50	50	0	0
	25	ふるさと教育の一環としてインターンシップや島内事業所説明会などを通して、若者の地元定着を促進する。	75	0	25	0
生徒会	26	生徒自身が自主的・自発的に活動する生徒会をつくる。	25	75	0	0
	27	総務委員会の企画力を向上させ、専門委員会並びに学級会の活動を活発化する。	0	100	0	0
	28	部活動を活性化し、部活動規定(部活動費・部活動数)を整備する。	0	100	0	0
	29	ボランティア活動に積極的に参加させることにより、地域を愛する心を育てる。	0	100	0	0
事務	30	生徒の安全を確保し、計画的かつ効果的な教育環境の整備を図る。	0	100	0	0
	31	省エネ・省資源化を図りつつ、効果的な予算執行に努める。	0	100	0	0
	32	適正かつ迅速な事務処理に努める。	100	0	0	0
1学年	33	生徒一人ひとりが学校生活へ適応し、自己理解を深め、自らの進路を切り開けるよう支援する。	29	71	0	0
	34	豊かな人間関係作りができるよう、ホームルーム活動や学年間の交流を密にし、思いやり、仲間意識を育てる。	43	57	0	0
	35	基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせ、規律ある生活態度を育ませる。	29	71	0	0
2学年	36	中堅学年としての自覚と責任を持たせ、規律と節度のある学校生活を送らせる。	0	83	17	0
	37	生徒一人ひとりを学校行事や部活動に主体的に取り組ませ、自己肯定感を高めさせる。	17	67	17	0
	38	家庭での学習習慣を確立させ、基礎学力の充実を図り、進路目標の具体化に努めさせる。	0	67	33	0
3学年	39	最高学年としての自覚と責任を持たせ、規律と節度を守る誠実な人間性を育てる。	67	33	0	0
	40	最上級生としての自覚と責任を持たせ、規律と節度を守る誠実な人間性を育てる。	50	33	17	0
	41	良好な人間関係を築かせ、学校行事や部活動に自主的、主体的に取り組ませる。	33	67	0	0